

【公表】 事業所における自己評価総括表 令和7年度

○事業所名	Visit Support ライフ		
○保護者評価実施期間	2026年2月16日	～	2026年2月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○従業者評価実施期間	2026年2月16日	～	2026年2月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○訪問先施設評価実施期間	2026年2月16日	～	2026年2月24日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	3件	(回答数) 3件
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月11日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	経験10年以上の職員や教員免許所持者等の職種が違う職員を配置しているため様々な状況に対応した支援を提供することが出来る	各職種に応じた知見を共有し児童一人一人に合う支援を検討している	より多職種での支援を展開し様々な方向から意見を取り入れてより良い療育支援に繋げていく
2	多機能型事業所として放課後等デイサービスも運営しているため利用児が訪問支援を利用する際にはシームレスな情報の共有を行うことが出来る	放課後等デイサービスを利用している際の様子も考慮しながら対応を行っている	訪問支援での課題、放課後等デイサービスでの課題、両方を考慮しながら同時並行的な支援を提供していく
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用希望に対して速やかに対応を行うことが難しい	訪問支援員の人員に限りがあるため	増員も含め検討し要望に沿えるよう人員の配置を検討していく
2	多機能型事業所なので放課後等デイサービスの状況により訪問支援の実施が出来ない場合がある	訪問支援員の人員に限りがあるため	増員も含め検討し要望に沿えるよう人員の配置を検討していく
3			

【訪問先施設】 保育所等訪問支援事業所評価集計表 令和7年度

【公表日】

2026年3月11日

対象学校数等 3件

回答数 3件

回答率 100.00%

【事業所名】

Visit Support ライフ

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	教室からの回答
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	3	0	0		
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	3	0	0		
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	3	0	0		
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	1	2	0		
5	事業所からの支援に満足していますか。	2	1	0	とても親身になって対象児童に寄り添ってくださってるのですが、一度に2名は多いと感じました。できれば1名で来てほしいです。たまにはいいのですが、いつも2名は多いと感じます。	ご意見ありがとうございます。 多職種の様々な観点から課題の発見及び支援の提供を行うために2名で訪問支援を実施させて頂いております。ご意見を踏まえ人員の調整等を行いながら訪問支援を実施させて頂ければと思います。貴重なご意見ありがとうございました。
その他のご意見		ご意見を踏まえた対応				
<p>保育所等訪問支援へ来ていただきありがとうございます。子どもたちにとっても、担任にとってもありがたい限りです。</p> <p>保育所等訪問の日程が、担任も確認できるとありがたいです。訪問日をあらかじめ、学級の児童に伝えられたらと考えております。</p> <p>クラスの子にも優しく接して下さってありがとうございます。香帆さんは来てくださることで安心感があるようです。今後もこまめに連絡を取り合い、香帆さんの困り感に合った支援や助言をいただけたらと思います。</p> <p>本人自身のやる気をサポートして下さりありがとうございました。また、本人がどこで困っているか、どこでつまづいているのかをお互いに共有させていただくことで、学校での指導に還元できました。今後ともよろしくお願いいたします。</p>		<p>ご意見ありがとうございます。日程につきましては事前の連絡等を含め確認がしっかりと出来るように体制及び対応方法を確立していきたいと思っております。今後もお子様及び先生方の力になれるよう支援を提供させて頂きたいと思っておりますので今後ともどうぞよろしくお願いいたします。貴重なご意見ありがとうございました。</p>				

【保護者様】 保育所等訪問支援事業所評価集計表 令和7年度

【公表日】

2026年3月11日

利用者数 3名

回答数 3件

回答率 100.00%

【事業所名】

Visit Support ライフ

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	教室からの回答
1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	1	0	0	2		
2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	3	0	0	0		
3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	3	0	0	0		
4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	3	0	0	0		
5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	3	0	0	0		
6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	3	0	0	0		
7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）（※1）が作成されていると思えますか。	3	0	0	0		
8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	2	1	0	0		
9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	3	0	0	0		
10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	3	0	0	0		
11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	3	0	0	0		
12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3	0	0	0		
13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3	0	0	0		
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング（※2）等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	0	2	0	1		
15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思えますか。	3	0	0	0		
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	1	0	0		
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	3	0	0	0		
18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3	0	0	0		
19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	3	0	0	0		
20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思えますか。	3	0	0	0		
21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思えますか。	2	1	0	0		
22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思えますか。	3	0	0	0		

23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3	0	0	0		
24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3	0	0	0		
25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	1	0	0	2		
26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	0	0	0		
27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	1	2	0	0	嫌がってはいませんが、本人の特性上といいますが、過度に緊張し、「きちんとしよう」と頑張っていたようです。	ご意見ありがとうございます。特性等を加味しながら支援の入り方を調節しお子様の負担にならないようなアプローチを検討していきたいと思います。貴重なご意見ありがとうございました。
28	事業所の支援に満足していますか。	3	0	0	0		

【事業者】 保育所等訪問支援自己評価集計結果 令和6年度

【公表日】

2026年3月11日

【事業所名】

Visit Support ライフ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点 改善が必要だと思う点	課題や改善すべき点
1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○		児童の課題や特性に応じた教材の準備を行っています	
2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。		○	多機能型事業所なので希望通りの対応が難しい	職員の増員も含め人員の検討を行っている
3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		様々な職種の意見を取り入れながらPDCAサイクルを行っている	
4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		適宜ミーティング等で意見の聴取及び共有、改善等を図っている	
6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在、第三者評価を取り入れていないので必要に応じて検討を行っている
7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		内部、外部研修を適宜実施及び受講している	
8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		利用者の様子や個別面談等を実施し課題等の把握に努めている	
9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		様々な職種の職員から意見聴取を行っている	
10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		事前に訪問先との会議を開催し意向の聞き取り等を行っている	
11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		システム上で訪問支援計画書を管理し必要な時に必要な職員が閲覧できるようにしている	
12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		支援記録等の標準的な様式を使用して共有を図り、アセスメントを行っている	
13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		実施前、実施後に共有を図り、現在の状況の把握を行っている	
15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○			
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○			
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者や担当者等が参加している	

21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて情報の提供を行っている	
23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			
24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	○	○	時間の都合がつきにくく参加できる場合と出来ない場合がある	参加が出来るよう調整を行っている
25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々の連絡を通して情報の共有を随時行い状況の共通理解を図っている	
26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		
27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○			
29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談等を通して意向の確認を行っています	
30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		面談等を通して直接保護者に内容の説明を行い同意を得ている	
31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		電子連絡帳を通して随時お悩み等に対する対応を行っている	
32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	様々な保護者がいるため一律的な交流の場の提供は出来ない	開催方法等を含め意向を調査しながら検討を実施していく
33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		必要に応じて専任の職員が対応を行っている	
34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		HPやSNS、お便り等で情報の発信を行っています	
35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		アクセス制限等を含め社内での情報管理を行っている	
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○			
38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○			
39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○			
40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			
42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		必要なマニュアル及び訓練等を実施している	

43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		必要なマニュアル及び訓練等を実施している	
44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			